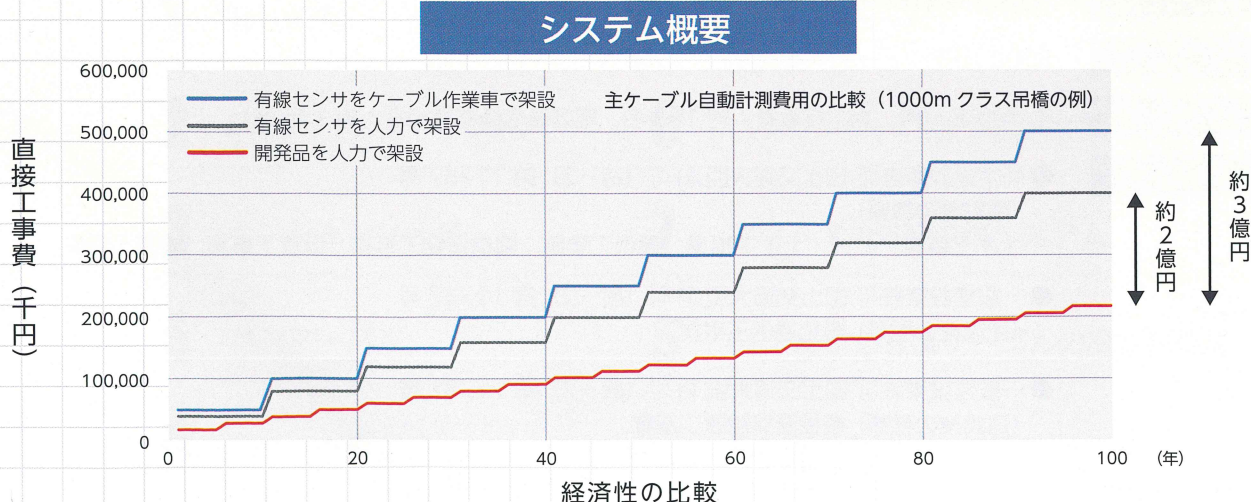


HBE-saver

DRIoT[®] ドライオット

最新のIoT技術を活用した、ケーブル送気監視システムにて費用削減を実現

国内外の長大吊橋で採用されている「ケーブル送気乾燥システム」において、主ケーブル全体の相対湿度が管理基準値（40%RH 以下）を満たしていることを確認することが最も重要です。従来の確認方法は有線のセンサによる自動計測が主でしたが、多くの費用を要していました。そこで近年発達している最新のIoT技術を活用し、新たなケーブル送気監視システムを開発しました。



(本州四国連絡高速道路(株)、(株)エム・コットとの共同開発、特許出願中)